



令和 6 年 1 1 月 2 0 日
成 田 税 関 支 署

東京税関成田地区密輸出入取締対策協議会を開催

令和 6 年 1 1 月 2 0 日（水）、千葉県成田市のホテル日航成田において、「令和 6 年度東京税関成田地区密輸出入取締対策協議会※」を開催する。

本協議会においては、深刻な社会問題となっている不正薬物等の密輸事犯について、関係取締機関との情報交換及び取締強化のための協議を行う。

1. 参加機関

千葉地方検察庁、千葉県警察本部、千葉県成田国際空港警察署、厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部、東京出入国在留管理局成田空港支局、横浜税関千葉税関支署、東京税関

（計 7 機関、4 2 名）

2. 令和 6 年上半期の成田国際空港における摘発状況

令和 6 年上半期に摘発した不正薬物の密輸入事犯は、摘発件数 3 2 件（前年同期比約 6 2 % 減）、押収量約 1 5 1 k g（同約 5 % 減）であった。

金地金等密輸入事犯の摘発件数は 1 2 3 件（前年同期比約 1. 9 倍）、押収量は約 2 1 9 k g（同約 6. 3 倍）であった。

航空機旅客による覚醒剤密輸は大口化傾向にあり、摘発 1 件当たりの押収量が 1 0 k g を超える密輸が頻発している。

また、金地金等の密輸入については、粉末状の金の身辺隠匿など密輸方法が巧妙化し、上半期で令和 5 年全体を上回る件数及び重量が摘発されている。

このような情勢を踏まえ、本協議会では、これらの不正薬物等の摘発・検挙状況と事犯の傾向について情報交換し、関係機関一丸となって密輸の阻止のため取締りを強化することにより、安全・安心な社会の実現を目指すこととしている。

※東京税関管内では成田地区のほか、中央地区（11 月 6 日開催）、山形地区（11 月 18 日）及び新潟地区（11 月 19 日）においても密輸出入取締対策協議会を開催しています。